



# 月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団  
月ヶ瀬公民館  
奈良市月ヶ瀬尾山 2815  
電話・FAX:0743-92-0346  
発行人:館長 藤田美佳



## 大寒

明けましておめでとうございます。今年は十干十二支でいう丙午の年に当たり、歴史に鑑みて、激動や変化が多い・早い年との通説があります。元日は穏やかな天候でしたので、世界の各所で平穡が脅かされるようなことが続く昨今ですが、初春の天候のような安寧な一年が続くことを祈る思いました。

経済や政治を含む世界情勢が不安定であることや、気候の変動が農作物に与える影響など、日々の暮らしについて気がかりなことが少なくない現況です。不安や辛さ、難難辛苦を感じるときに心の支えになるのは、気の置けない仲間との語らいや、書物と向き合うひとときであると個人的には感じます。そのように改めて感じたのは、今年初回の「夜の図書室」でのことでした。この講座は、令和5年の12月から開始して、奇数月は ONONO (オノオノ)、偶数月は公民館図書室で、毎月第1金曜の夜に行っている講座です。主に月ヶ瀬地区在住の方々が集っているので、図書関連の話以外にも日常の情報交換など、多岐にわたる対話の時間になっています。参加者からは、「月ヶ瀬でこうした文化的な集まりを続けて開いてもらっていてうれしい。」、「日々の忙しさのなかで、ここにきてのんびりできる。」、「本の情報交換ができた。自分が読まない本の話を聞いて、読んでみようと思った。」などの声があります。これらの感想や意見を聞き、講座を運営する側としての喜びと共に、和やかな集いの場を継続できることのありがたさを実感します。

不安定な時代だからこそ、愉快適悦なひとときを、公民館の講座を通じて提供していけるよう、今年も一所懸命取り組んでいきたいと思っています。なお、今月末には、交通を含めて、公民館に足を運びにくい方のために、数年前から企画していた出前公民館をようやく開催します。1月29日に桃香野老人憩の家で、梅寿会の役員さんの協力を得ながら、懐かしい映像を視聴して語らう会です。地域のみなさまの声を聴かせてもらいながら、よりよい変化を生む年としたいと思いますので、今年もどうぞよろしくお願ひいたします！

## こんな講座がありました！

### 冬を彩る寄せ植え 12/20

今年もグリーンアドバイザーの西森美穂さんが講師です。今年度からは月ヶ瀬地区以外の方も参加可能な形で開催しました。



### 夜の図書室 クリスマスの絵本を読もう 12/23

クリスマスを題材とした絵本を読みながら、語らい、心が温まる時間になりました。



### いっしょに遊ぼう 1/14

講師は、紙芝居作家の方です。月ヶ瀬こども園の園児のみなさんが今年も楽しみにしてくれていました。去年の内容をしっかりと覚えてくれていたお子さんもいました。未就園児と保護者の方々も参加し、楽しい時間があつという間に過ぎました。



## □今後の講座の予定 □



いっしょに遊ぼう 参加申し込み不要、当日公民館にお越しください。対象は、乳幼児と保護者です。

2/5(木) 午前10時～11時 ミュージックケアで楽しく遊ぼう 講師:♪メロディ・アリサ♪

月ヶ瀬写真展 自主グループ「月ヶ瀬写真部」の会員による 梅と月ヶ瀬の写真を展示します。

2/10(火)～3/22(日) 午前9時～午後5時 公民館の開館時間中は、自由にご覧いただけます。

※休館日:毎週月曜と国民の祝日、国民の祝日が月曜の時はその翌日を除く

学ぶ月ヶ瀬・梅物語 月ヶ瀬梅溪保勝会との連携による全3回の講座です。1,2回は終了しています。

2/26(木) 午前10時45分～午後12時30分 観梅道で写真の撮影を学びます。講師:倉家 eto 修司さん



図書室だより



移動図書館

※次回は2月13日



【今後の予定】 3月13日

各回とも金曜日、午後2:50～3:30

■毎月10人の利用がないと、移動図書館は廃止になります。存続のため、ご利用をお願いします。

【移動図書館の利用について】

★1か月、1人10冊まで借りられます。  
★市立図書館蔵書のリクエストもできます。  
大型紙芝居を依頼することもできます。  
★インターネットで予約して、移動図書館で受け取れます。

☆利用について、わからないことがあるときは、公民館にお問合せください。

■市立図書館  
貸出券の作り方→



奈良市生涯学習財団

<https://manabunara.jp/>

公民館だよりバックナンバー

施設紹介→

月ヶ瀬公民館→

公民館だより



御朱印に紅葉一枚永源寺  
五年より二年がよしと日記買ふ  
年忘れの中の皿に笑ひ盛る  
福引きの鈴は度たび歳の市  
釈迦像の螺旋に止まる冬の蝶  
風の来て大根切り干し軽くなる  
生命線見せ合ふバスの紅葉狩  
大盛りす家族揃ひて栗ご飯  
行くあても無く霜柱踏んでみる  
シクラメン咲き誇りたる玄関前  
初霜や今年の体ついて来ず  
ゆるゆると師走の街のレジ長し  
山肌を雲の影行く冬日向  
瀬戸内にタンカー滑る冬の海  
暦果つ八十余歳の重さのせ  
畦道を駆け行く子らや冬に入る  
ますみ 新哉 卓 旅人 定代 臣生 利明 和代 由姫子 知里 かつ野 朋子 豊美 ふみ子

月ヶ瀬俳句会【十二月】